

## 編集後記

ここに予防鍼灸研究会雑誌（J-PAM）の創刊号をお届けします。

この創刊号には、この予防鍼灸研究会（SGPAM）の産みの親の一人である湯浅龍彦先生の発足記念講演のまとめが論説として掲載されています。そこに謳われた「東西医療を結ぶ」には、先生の深い思いが籠っています。

また、漢方治療に関する恵紙英昭先生の原著論文も実臨床に役立つ興味深い内容と思われれます。

さらに、コロナ禍になって3年が過ぎたこの時期、定例会で「コロナ後遺症のケアと養生」の特集が組まれた事は大変意義深いことです。本号に掲載されたコロナ禍のタイムリーな原稿の数々を読んでもいただきますと、執筆者の深い思いが伝わってくる筈です。

このJ-PAMが益々意義深い、価値あるものになるよう、編集委員一同で精進する所存です。創刊号の編集にあたっては、昨年暮れから1,2週間に1回の編集委員会（Web会議）を開催してきました。ご協力頂いた編集委員に深謝いたす次第です。

2023年5月

予防鍼灸研究会雑誌（J-PAM）

編集委員長

足立克仁